

苫小牧市子ども・子育て審議会
第1回ヤングケアラー支援条例検討部会

『ヤングケアラー支援について』



北海道ヤングケアラー相談サポートセンター
ケアラー支援ネットワーク えべつケアラーズ
加藤高一郎



えべつ ケアラーズ

- 💡 2015年から介護や子育てしている家族を支える団体として活動。【支える人を支える／ケアする人をケアする】
- 🏆 ケアラーズカフェ。第2水曜、第4日曜午前。
集いの場、愚痴吐き場、情報交換・情報提供の場、
関係機関・専門職・行政へのコーディネート。
- 🧑 役員のほとんどがケアラー
- ✂️ 定期で各種研修・講演会実施。
介護実技研修、認知症研修、身体障害・精神疾患研修、
子育て勉強会、音楽鑑賞会、料理教室、飲み会。
- ✍️ 今年4月から北海道から事業委託を受け、ヤングケアラー支援事業を開始。



ヤング ケアラー

家族にケアを要する人がいる場合に、**大人が担うようなケア責任を引き受け、何らかの犠牲と引き換えに、家事や家族の世話・介護・感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもの総称。**



ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

えべつケアラーズと ヤングケアラー

■ 2017年頃より相談増加。

⇒大人ケアラーからヤングケアラーへのクチコミ。

■ 中学生から専門学生、高校生、大学生が中心。

2023年2月1日現在 33名。

■ 半数が匿名・匿住所。

■ 連絡のやりとりはメール、SNS、LINE、電話。

⇒一人ひとりの連絡頻度は違う。距離感を図る。

■ 拠点は作らず。

⇒オトナの自己満拠点は不要。子どもにとって

落ち着く場所、子どもがいつも過ごす場所が拠点。



ヤングケアラーを 捉えるヒント

人格形成の途中だということ。

ヤングケアラーは、成長や発達の中でケアを担うため、年齢に合わない過度な負担を子ども時代に負った場合、その後の人生にまで影響を受けることがある。

自覚がない。

本人や家族に自覚がない状態では、自分からサポートを求めることも難しい。

家庭のことを外に言いたくない。

家庭のことを知られたくないと思っていることも多い。家族に病気や障害を抱えた人がいることを恥ずかしいと捉えている場合や口止めされている場合もあり、家庭のことは隠すべきものと思っていることもある。

家族をケアすることを否定されたくない。

本人としてはケアをしたくないわけではなく、負担になっていても大切な家族のために自分からケアをしたいという思いがあることもある。ケアすることを否定されると自分がしてきたことを否定されたように思いがち。

オトナへの相談は基本あまりしたくない。

信頼できる大人はいないと思っていることもある。大人に助けられた経験が少なく、人に頼ろう、相談しようという発想がない場合もある。

孤独になりやすい。

大人の役割を担うことで他の子どもと話が合わないことや大人びていることがあり、また、現実的に遊ぶ時間がないこともあって、孤独を感じやすい。

ヤングケアラー 支援には 「連携」が不可欠

ヤングケアラーの課題は家族が抱える課題が複合化したもの

●ヤングケアラーに係る問題は、家族が抱える様々な課題が関係し合い、複合化しやすいという特徴があります。

●例えば、ある精神障害を抱える成人女性に小学校高学年の子どもがおり、よく話を聞いてみると、家庭内ではその子どもが母親である女性を支えていて、母親側の祖父母も同居しているものの介護を受けているため頼ることができない——といったケースを想像してみてください。このケースの場合、精神障害を抱える女性への支援を担当する障害福祉部門をはじめ、祖父母の介護を担当する高齢者福祉部門や子どもの通う学校など、様々な機関・部署が、それぞれの専門領域から関わっていくことが想像できます。ただ、それぞれが個別に支援を行っている可能性もあり、その場合に、ヤングケアラーが直面する多方面の課題を包括して把握し、支援するという取組が不足してしまう可能性があります。

ヤングケアラーの支援では家族の状況に応じた既存の支援の組み合わせが重要

●ただし、「ヤングケアラーに対して何か特別・特殊な支援をしなければならない」と難しく捉える必要はありません。各機関・部署や担当者がそれぞれの所掌範囲から少し視野を広げ、それぞれの立場の中でできることは何かを考えてみるのが大切であり、既にある支援の組み合わせが求められるからこそ、複数の関連機関による連携が重要となってきます。

●様々な分野で多様な相談窓口を設置する自治体が増えてきていることから、ヤングケアラーはどの機関でも把握する可能性があります。したがって、各機関・部署において、今まで取り組んできた支援ケースの中にヤングケアラーがいるかもしれないと捉えることが大切です。

ヤングケアラー 支援で 大切な5つの 「ちゃんと」

- **家族全体が支援を必要**としていることを「ちゃんと」わかること。
- 緊急の場合を除いて、**本人の意思や家族の想い**を「ちゃんと」尊重して支援を進めること。
- **支援における役割**を押しつけ合いをせずに「ちゃんと」明らかにすること。
- 既存の制度やサービスだけで考えず、**あらゆる方法**を「ちゃんと」模索する。
- 皆でスムーズに連携した支援を行う事ができるよう、**日頃から顔の見える関係作り**を「ちゃんと」意識すること

えべっけアラーズが関わる ヤングケアラーたち



大学中退。経済的課題。夜の仕事も。

札幌市内の大学在学中に相談を受ける。両親が離婚。母と祖母と生活するも母の収入減により、祖母の介護とアルバイトに明け暮れるも。。。

札幌市・20歳・女性

医療・介護・療養3人を支える。

父と祖父母、弟との生活。母を早くに亡くす。父は働きながらも透析通い。祖父は認知症でデイサービス通い。弟は発達障がい児で児童デイ通い。3人を気にかけるながら支援。

石狩市・19歳・女性

新型コロナの影響により。

父と母、祖父と生活。父は自営業。コロナのあおりを受けて倒産。現在契約社員で生計を。母は統合失調症にて定期通院中。祖父は要介護にてデイサービス等を利用。部活を辞め、祖父を中心に支援。

江別市・17歳・男性



えべつケアラーズでの ヤングケアラー支援活動①

ケアラーズカフェ

月2回開催。ヤングケアラーが直接足を運ぶことは少ないも、ケアラー支援活動の支援ベースの1つとして運営。ヤングケアラーについては大学生の来訪がある。



広報啓発活動

市内及び市外の小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学を中心に広報活動を展開。チラシやリーフレットを活用し、学生はもちろん、教職員への理解啓発のために訪問、及び授業での発信を実施。



えべつケアラーズでの ヤングケアラー支援活動②

個別支援（相談）活動

電話、携帯ショートメール、facebook、LINEを通じて個々につながり心身の状況把握。個々に関係性づくりを展開。必要に応じて個々に面談も行う。



出張相談活動

- ケアラーカー
若年層のスポットに出向き、相談を気軽に受けられるよう展開。
- ケアマック
マックにて定期的に集会。来る来ないは自身の判断。



昨年6月から・・・

総合相談窓口開設

北海道ヤングケアラー相談サポートセンターを開設。来所相談。電話相談（フリーダイヤル）

オンラインサロン開設

ネット上で子どもケアラーとオンラインで通じることが出来るサロンを毎週末定期的で開催。

公式ホームページ開設

北海道ヤングケアラー相談サポートセンター「ヤンサポ」のホームページを開設。研修やケアラー支援に関する新しい情報を常に発信。

北海道のヤングケアラーに関連した動き

- 令和3年6月～：ケアラー支援有識者会議招集・開催開始
- 令和3年11月：ケアラー支援をテーマとしたシンポジウム開催
- 令和3年11～12月：ケアラー支援条例制定に向けたパブコメ実施
- 令和4年4月 ケアラー支援条例制定
- 令和3年7～8月：中学、高校でのアンケート調査実施
- 令和4年7月：小学、大学でのアンケート調査実施
- 令和4年11月：ケアラー支援推進シンポジウム開催
- 令和4年11～12月：ケアラー支援推進計画策定に向けたパブコメ実施
- 令和5年4月（予）：ケアラー支援推進計画スタート



ヤングケアラーの実態・課題

B ヤングケアラー関係

調査対象区分						
	抽出方法	調査方法	実施時期	標本数	回答数	回答率
① 小学生（5年生及び6年生）						
	全数調査	Web	令和4年7月12日～7月27日	48,576	14,063	29.0%
② 中学生及び高校生（2年生）						
	全数調査	Web	令和3年7月27日～8月26日	約50,000	11,231	約22%
③ 大学生（4年制大学の全学年）						
	全数調査	Web	令和4年7月12日～7月27日	69,854	1,041	1.5%
④ 小学校（市町村立）						
	全数調査	Web	令和4年7月12日～7月27日	779	759	98.2%
⑤ 中学校及び高等学校（公立）						
	全数調査	Web	令和3年7月27日～8月26日	691	561	81.2%
⑥ スクールソーシャルワーカー						
	全数調査	Web	令和3年7月27日～8月26日	73	46	63.0%

※ ①～⑤については、いずれも札幌市を除く

母・兄弟 代わってほしい・自由

相談したって

調査方法



ヤングケアラー 「かな？」の 気づき ～地域編～

- 学校へ行っているべき時間に、学校以外で姿を見かけることがある
- 毎日のようにスーパーで買い物をしている
- 毎日のように洗濯物を干している
- 自治会の集まり等、通常大人が参加する場に子どもだけで参加している
- 民生委員・児童委員による訪問**時にケア状況を把握する
- 子ども食堂**での様子に気になる点がある。
- 生活のために(家庭の事情により)就職している
- 生活のために(家庭の事情により)**アルバイト**をしている
- 家族の介護・介助をしている姿**を見かけることがある
- ごみ問題の発生
- 家賃不払いにより自宅を退去
- 子どもが**親の通訳**をしている
- 児童家庭支援センター等において、家族のケアを行う子どもに関する相談がある

ヤングケアラー 「かな？」の 気づき ～学校編～

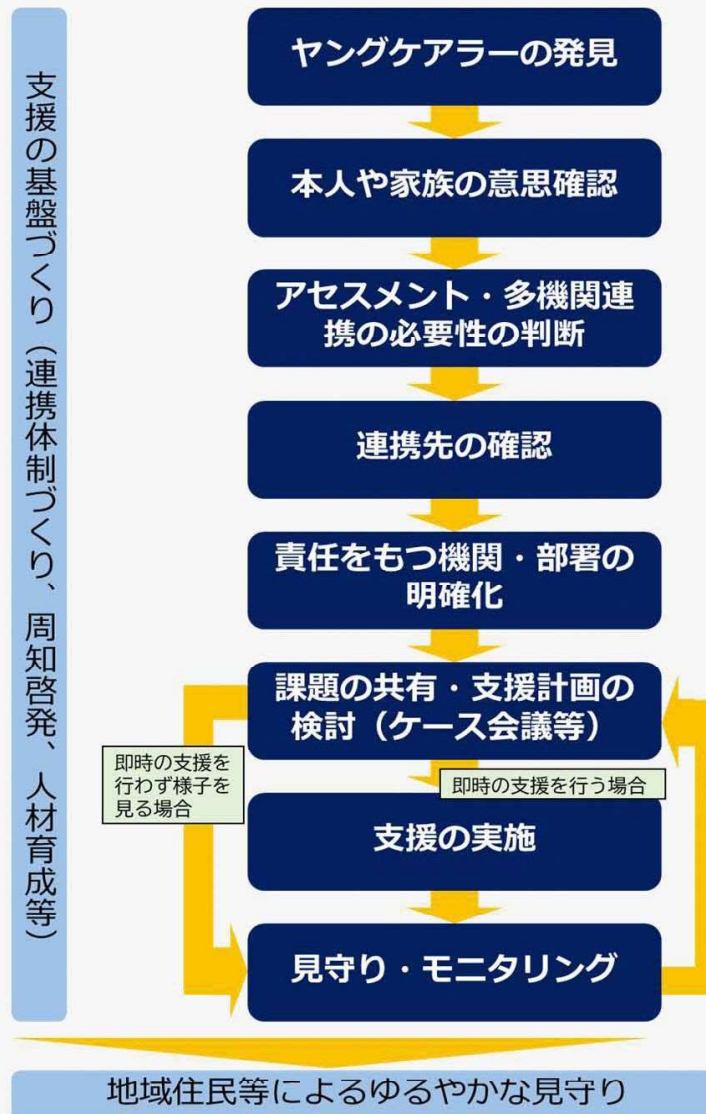
- 健康上に問題がなさそうだが欠席が多い、不登校である
- 遅刻や早退が多い
- 保健室で過ごしていることが多い
- 提出物が遅れがちになってきた
- 持ち物がそろわなくなってきた
- 授業中の居眠りが多い(いつも眠そうにしている)
- しっかりしすぎている
- 優等生でいつも頑張っている
- 子ども同士よりも大人と話が合う
- 周囲の人に気を遣いすぎる
- 服装が乱れている
- 家庭訪問時や生活ノート等にケアをしていることが書かれている
- 保護者が授業参観や保護者面談に来ない
- 幼いきょうだいの送迎をしていることがある

ヤングケアラー支援の一般的なフロー

2 連携して行う支援のポイント

ヤングケアラー支援の流れ

●ヤングケアラー支援の一般的な流れとして、下記のような経過をたどることが考えられます。



初期介入時が
大事。
ここを意識して
みてください。

◆ヤングケアラーを発見・把握した機関が初期介入

本人や家族からの聴き取りは発見・把握した機関が行う。ヤングケアラー本人にとっても、日頃から接している人の方が話しやすい場合が多い。

◆支援に必要なアセスメント

本人や家族の状況を把握し、支援の必要性を検討する。身体的、精神的健康状態や、教育を受ける権利など、子どもの権利が守られているか把握する。

◆家族全体へのアプローチが必要

ケアの対象や内容は様々なので、ケア対象者を含む家族全体への支援が必要という視点をもつ。ヤングケアラー本人の支援をしたとしても、ケアの負担自体が軽くなるわけではない。

◆伴走支援の視点

支援を望まない場合もあり、意思決定のサポートをしながら寄り添い続ける継続的な関わりが必要になる。家庭の状況について多くの情報を聞くことは、過度な負担を強いる場合もある。

◆プライバシーへの配慮

本人の意思を確認せず、相談内容を家族に伝えることはしない。家庭の状況を周囲に知られたくない場合が少なくない。

◆個人情報の共有に関する同意

関係機関の連携には本人や保護者の同意を求める。家庭の課題を解決する中心にいるのは、支援者ではなく本人及びその家族。

相談窓口のいろいろ(本人や家族が相談)



北海道ヤングケアラー相談サポートセンター【ヤンサポ】

電話 0120-516-086

hokkaido.young.carer2022@gmail.com

北海道子ども相談支援センター

電話 0120-388-256

Soudan-center@hokkaido-c.ed.jp

児童相談所専用ダイヤル

電話 0120-189-783



相談窓口のいろいろ (関係者等が相談。各機関に調整する。)

各地区(振興局)のヤングケアラーコーディネーター



■石狩管内・後志管内
社会福祉法人聖母会(北広島市)

■オホーツク管内
社会福祉法人北光福祉会(遠軽町)

■渡島管内・桧山管内
社会福祉法人函館厚生院(函館市)

■胆振管内・日高管内
NPO法人ワーカーズコープ(苫小牧市)

■空知管内
社会福祉法人光が丘学園(岩見沢市)

■十勝管内
社会福祉法人池田光寿会(帯広市)

■上川管内・宗谷管内・留萌管内
社会福祉法人美深育成園(美深町)

■釧路管内・根室管内
社会福祉法人釧路まリモ学園(釧路市)

各市町村役場の子ども関連の部・課



ヤングケアラー支援における 自治体との関わり

関連機関との連携が肝 旗振り役を早急に決定

相談実績、相談対応がほぼゼロに近い自治体がほとんど。専門的な対応を期待するほうが間違い。関係する部や課、コーディネーターやヤングケアラーサポートセンターと早期にチームを組んでケースを検討する形が望ましい。



早期のケース会議

各々が情報をもっている現状があれば、早期にケース会議を開催。まずは情報を皆で共有することが何より大切。子どもを中心に関係する個人や関係団体で、その子を包囲する情報網を作り、その子だけのケースチームを作り上げる。



ツールを活用した関係性構築のための ポイント3選



とにかくマメに。

レスポンスを常に意識。レスポンスに時間を要すれば要するほど、相手の反応も薄くなる。「君のことを常に気にしているんだよ」のメッセージの強さとレスポンスの速さは比例している。

たかが文字。されど文字。

メール送信の際の文章チェックには気をつける。ちょっとした言い回しが後で大きな痛手となることもある。相手がこの文を見てどう思うかイメージをしっかり膨らませて。

くだらんやりとりが絆を生む。

芸能の話題、時事ネタ、音楽の話題など、とにかく発信が大事。ちょっとしたこと、「こんなこと伝えんでもいいか」という、くだらない内容の発信も面倒腐がらずに行うこと。



ヤングケアラー 支援 アセスメントの ポイント

★本人からの能動的な発信を目指す。

※人間は「どうしても言いたくなったら言う」という件。

★アセスメントはさりげなく。

※オトナの聞き取りとは別モノ。遠回りした内容から本人の意思や意向、思いを汲み取る。

★「このオッサンなら」「このオバハンなら」を目指す。

※とにかく信頼できるオトナになる。秘密を共有することも大事な要素の一つ。

★本人が拒む時（拒否）は無理強いしない。KPIに戻す。

※まだまだ関係性の構築がなされていないと捉える。



ヤングケアラーと 虐待の関係性

- ただの子どもと、ヤングケアラーは違うとしっかり認識する。
※ケアラーの特性をしっかりと理解する。
- 「ヤング」はつくが、あくまでも支援対象者は「ケアラー」であることをしっかりオトナがわかることが大切。
- 「本人がどうしたいか」の意志の確認が大事。
※本人と家族の別々の面談の場が必要。
- 虐待でも慌てずしっかりとしたアセスメント行う。
※とにかく本人の意思や思いを尊重して思いを巡らす。

ケアラーの特性

ケアする人にしか目がいかない。

心身の健康を損ない、客観的にみると支援が必要であるが、日常生活となり本人がそれに気づいていないか、後回しになる。

**相談内容が具体化できない。
窓口が探せない。**

困りごとが整理できない場合も多く、誰に何を相談していいかわからず、孤立することが多い。

固定観念、先入観に囚われる。

介護は家族がするものとケアラーも周りも思い込んでいるので、問題を抱え込み助けてと言わない（言えない）。

絶望に覆われる。

今後の暮らしに見通しがもてない。

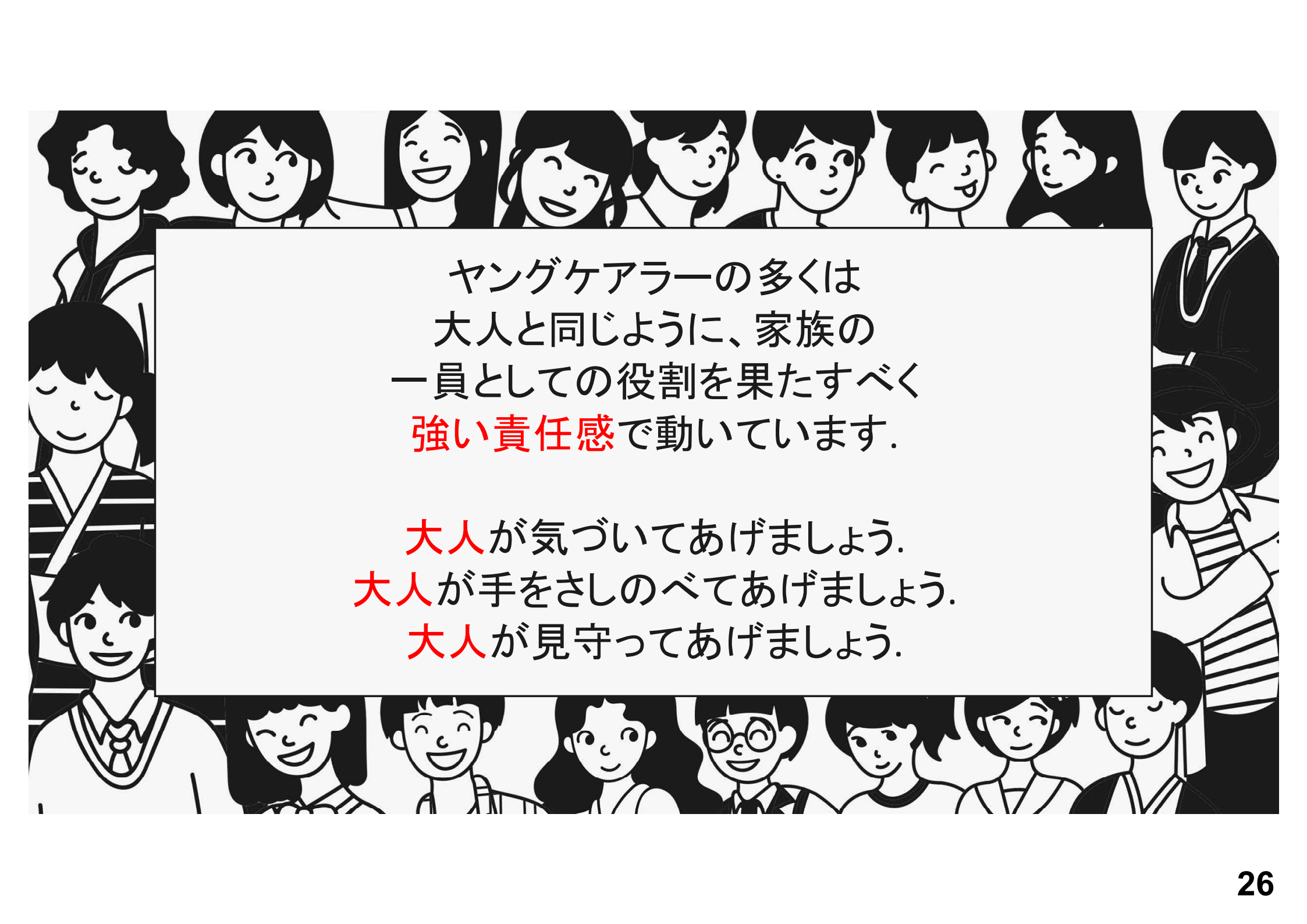
ケアラーだとわかっていない。

ケアラーの自覚がない。気づいていない。

本質と課題

- 子ども本人に因子はほぼない。因子は家庭、世帯にある。
- 家庭内の介護や医療、経済など諸問題の見なおし、整備検討が必要。多職種が横断的支援。
- 子どもは家族の一員。子どもと家族の関係には徹底した配慮が必要。
- 支援に踏みきるか、見守るかの見極めが大事。
- ヤングケアラー同士の横のつながりの構築

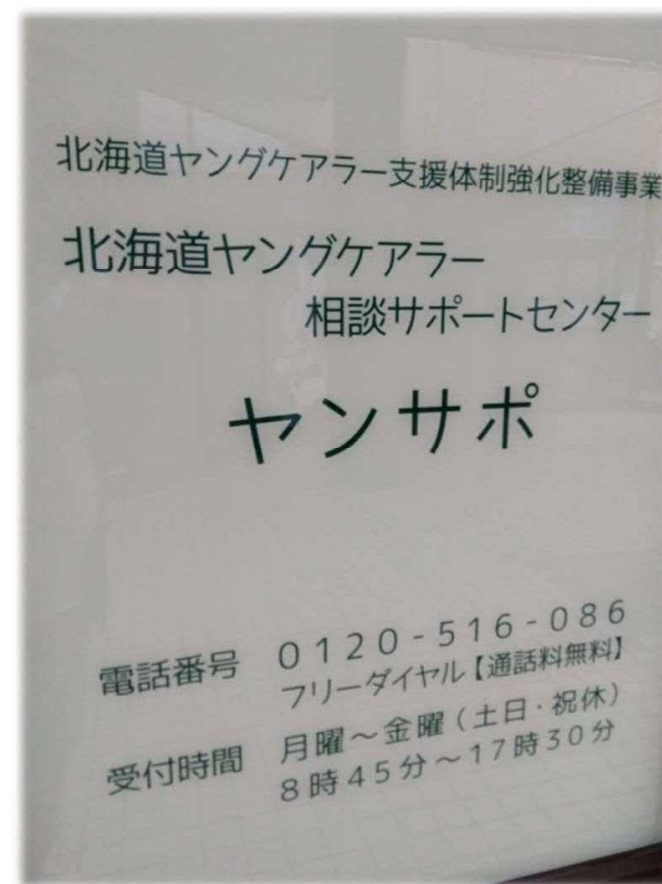




ヤングケアラーの多くは
大人と同じように、家族の
一員としての役割を果たすべく
強い責任感で動いています。

大人が気づいてあげましょう。
大人が手をさしのべてあげましょう。
大人が見守ってあげましょう。

どんな些細なことでも構いません。
あたなの近くに「あの子、もしかしたらヤングケアラーかも」という子がいましたら、
お話、お聞かせください。



- お電話での相談
0120-516-086(通話料無料)
匿名でも構いません。
- 来所での相談
8:45~17:30(土日祝日休み)
事前予約いただけると幸いです。
- ホームページやっています。
- メールでの相談もやっています。(匿名可)
- フェイスブック、ツイッターもやっています。

ご縁をいただきありがとうございます
이었습니다。

何かございましたら、いつでもご連絡ください。

